

平成22年度カーボンフットプリント試行事業  
第5回カーボンフットプリント・ルール検討委員会

議事要旨

日時： 平成22年11月18日（木）10：00～12：00

会場： 学士会館 202号室

●出席者

稲葉委員長、平尾副委員長、玄地委員、須田委員、辰巳委員、西尾委員  
（出席6名、欠席1名）

●議題

1. ルール見直し検討について
  - ① 「表示の多様化」の詳細検討について
  - ② 「サービス」の検討について
  - ③ その他の検討について
2. 広範囲PCRを用いた実証事業について
3. エコプロダクツ2010への出展について

●議事概要

- ・ 議題1～3. について、事務局より説明が行われ、各委員による意見交換が行われた。

1. ルール見直し検討について

（1）比較表示ルール検討WGの活動報告について

- ・ 過去のデータとの比較においては、何世代も前の製品と比較することは好ましくない。明確なルール化が難しくとも、常識の範囲で表示するようにしてほしい。
- ・ 比較表示にあたっては、同一の機能をもつことが条件であり、過去の比較対象製品も検証の対象となるため、事実上適切な判断がなされるのではないかと。
- ・ 比較表示が申請された場合には、CFP検証パネルの場でチェックするなどの運用面も含めて検討をお願いしたい。
- ・ 比較する2つの製品は、同一の二次データを用いることが必要である。過去の製品に対しても、最新の二次データを適用して再計算するケースが想定される。

（2）表示の多様化検討WGの活動報告について

- ・ 削減率および数値なしを表現するにあたり、新しいマークデザインを含めて検討するとのことだが、これまでの試行事業との継続性を考慮し、現行のマークからの大きな変更は望ましくないとと思われる。

- ・ 多様な表示方法を導入しても、その前提条件として追加情報の義務付けが増えるならば、事業者にとって障害となる恐れがあるので、製品本体への表示をシンプルにするなど、全体的な表示ルールを検討も必要ではないか。
- ・ 表示方法の在り方を検討するに当たり、表示することのコスト等も含めて検討していただきたい。

### (3) 「サービス」の検討について

- ・ C F P制度におけるサービスのルール化を検討するため、新たにWGを設置する。
- ・ 検討するサービスの範囲は、I Tサービスや廃棄・リサイクル関連だけではなく、消費者が想定するサービスを幅広く検討してほしい。
- ・ 流通サービスを検討する際には、暫定的に算定外となっている販売プロセスについても考慮してほしい。
- ・ サービスは消費者に対する多様なカスタマイズがなされることが多く、どのように標準化するかが難しいと思われる。
- ・ サービスを定義・分類すると同時に、C F Pを算定するために必要なデータが取得できるのか、といった観点も必要。
- ・ サービスのC F P算定・表示を希望している事業者もいる中で、優先順位をつけながら検討を進めてほしい。

## 2. 広範囲P C Rを用いた実証事業について

- ・ C F Pに参加する事業者にとって、「個別P C Rで算定するのと広範囲P C Rで算定するのではどのような差異があるのか」というような点まで実証する予定はあるのか。
  - 広範囲P C Rは、その検証の成立性及びP C Rの分類体系の整理を目的として実証事業を行っているため、個別P C Rとの比較は検討していない。また、エコプロダクツ展への出展を検討しているが「広範囲」と明示して、個別P C Rの製品とは区別できるようにする。
- ・ 現在の実証事業に対する応募・採択は、エネルギー非使用型製品のみであった。今後の課題として、エネルギー使用型製品の実証事業を進めていくことが考えられる。

## 3. エコプロダクツ2010への出典について

- ・ 認定済みP C Rと検証済みC F P製品の一覧を示すものがあるとよいのではないか。

以上